

台湾系米国人NBA選手のジェレミー・リン（林書豪）選手が旋風を巻き起こしている。何と今年度に初先発出場したとたん最初の3試合で89得点、4試合で109得点、5試合で計136得点を叩き出しそれぞれNBA記録をした上、NBA初となる初先発出場から最初の6試合全てで20得点7アシスト以上という偉業を成し遂げ、今やメディアからは"Lin-sanity"(リン狂)とまで謳われているのだ。

実は彼はクリスチャンである。彼が高校生の頃には、金曜日の夜は家族と一緒に過ごしていたという様なマジメな青年だ。しかし周知の如く彼のプロとしての出だしは散々だった。

アイビーリーグ時代の輝かしい成績にもかかわらずドラフトされず、"地元"と選んだウォリアーズはさしたる出番なく放り出され、その次に契約できたロケッツからはクリスマス・イヴにクビになった。押し寄せる不安とあせり、満身創痕の彼はいつも、聖書の

**「神を愛する々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」**

**ローマ書 8章 28節**

の言葉を口ずさんでいたという。そしてついにその意味を悟ったのだ。彼は言う。

「昨シーズンまでの僕はいつもどうやったら人に認めてもらえるかとか成績やプレーばかり気にしていた。でも今は違う。まず神を信頼し全てを彼にお任せする。心配や不安は全くなくなった。人やメディアの評判は俺にとって無意味になった。神に栄光あれ！」と。

クリスチャンになったら"いい人間"になって何事も順調の"無病息災"ではない。神を信じた後、日々の生活の挫折の中で神とまた出会い、彼を信頼し、その結果平安をいただく人間がクリスチャンなのだ。神を信じて大胆に生きよう。

2012-2-16

